

国際教養学部/Faculty of International Liberal Arts ってどんなところ？

FILA について

国際教養学部 (Faculty of International Liberal Arts) は通称 FILA と呼ばれています。FILA では、1 セメスター (約 4 か月) の**海外留学**が出来たり、学部の授業は**全て英語**で行われていたりといった特徴があります。

また、学べる分野も「歴史・社会・文化」「国際関係・政治」「経済・経営」など幅広いので語学力だけでなく、しっかりとした**教養**も身につけることができます。

FILA の授業について

僕が個人的にお勧めする授業は、CCU(Cross Cultural Understanding)です。この授業は1年次にある、

文化の違いについて理解を深める授業です。

例えば、「空気を読む」というのは主に日本の文化で、他の国の人にとったらなかなか理解できません。等々他にも様々な文化の違いが存在します。このような違いを講義、ディスカッションだけでなく実際に生徒たちで**ロールプレイ**を行って理解を深めるのはとても楽しかったです。

現役 FILA 生に
インタビュー
してみました!!

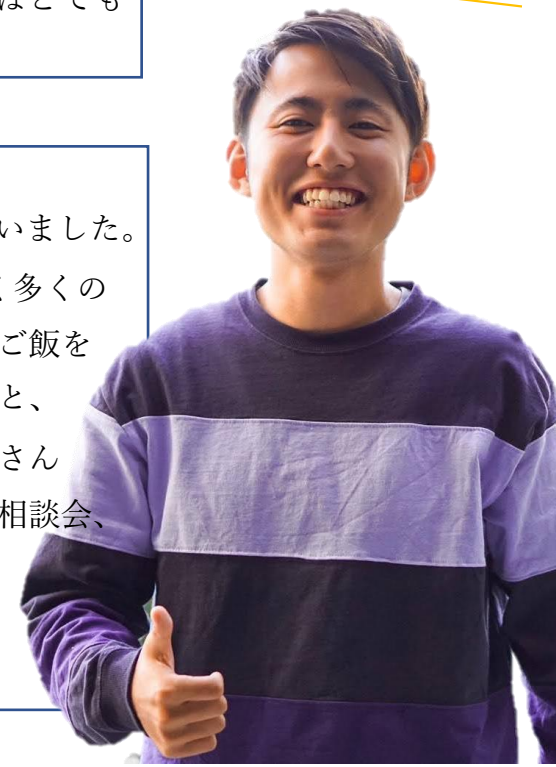
*Let's study in
FILA together!!*

留学について

僕はカナダ (バンクーバー) に留学をしました。コロナ禍というのもあり実際に現地で生活したのは約 1 か月でした。僕自身、初めての海外というのもありすごく不安であり、また日本語が通じないという環境に身を置くことは想像以上にきつかったですが、一緒に行った**仲間と切磋琢磨**しながら何とか乗り切ることが出来ました。またホームステイで食文化の違いや現地の方と話す中で**多様な文化**に触れることもでき、とても有意義なものとなりました。(詳細は次のページを check!)

国際寮での生活

僕は1年次に滝山国際寮(男子国際寮)に住んでいました。名前の通り**国際性**に富んでおり、学部関係なく多くの留学生と共に生活を送りました。食堂で一緒にご飯を食べたり、国際交流ラウンジで朝まで話したりと、一人暮らしでは出来ない**体験、思い出**をたくさん作ることが出来ました。また、寮の先輩が履修相談会、留学相談会、スポーツフェスティバルなどのイベントを開催して下さるなど**サポート**がとても手厚くとても頼りになりました。



Canada

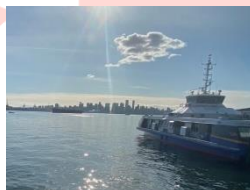
① ホームステイ

- 英語を話す機会が多い
- ・現地の方の生活や文化を体験できる



② 現地の方が優しく、フレンドリー

- ・日本食レストランが多い！
- ・Sea bus(右の写真)での通学は感動！



- ② ・マイノリティーの環境での生活の厳しさ。
- ・日本のありがたみを知った(日本食, 母国語が通じること!)

Australia

① 寮

- 男女混合寮！ジェンダー関係なく仲良くなれた
- ・寮でのイベントがたくさんある(外でピザパーティ、映画…)



- ② ・動物好きなら行くべき！普通にイグアナが歩いている。
- ・自然も都市も両方楽しめる！
- ・衛生環境が良い



- ③ ・現地の方の話すスピードを痛感した。
- ・自分の知らない自分を知れる！

Study Abroad Program

- ① 居住形態のいいところ
- ② ずばり、その国の魅力は？
- ③ 留学で得られた新しい知識

New Zealand

① ホームステイ

- 現地の方の英語の言い回しを学べる
- ・生活スタイルの違いを知れる

② 自然豊か

- ・多国籍な国！アジア人も多い
- ・フレンドリーな人が多い(バス停でおばあさんに話しかけられたことも！笑)

③ 価値観の違いを感じた

- ・英語を話すことへの抵抗がなくなった



Philippine

① 寮

- 2人部屋で設備はホテル並み！
- ・寮生用のカフェテリアもあるから快適

- ② ・人が温かくてみんなエネルギッシュ！
- ・途上国が急速に発展している様子を実感できる

- ③ ・海外の大学の授業レベルを体感できて、勉強をもっと頑張ろうと思えた！
- ・衣食住がしっかりしてればどこにいても楽しく暮らせること！



United States

① 寮

- 1ユニット4人で留学生と仲良くなれる
- ・留学生の手料理が食べられる
- ・自炊なので、自立力が上がる！

- ② ・海外ドラマのような生活を体験できる！
- ・電動キックボードが楽しすぎる
- ・スタバが大きい(笑)

- ③ ・貧富の差を身近に感じた
- ・自分がアジア人であるということ

